



2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社サニーサイドアップグループ 上場取引所 東
コード番号 2180 URL <https://ssug.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）次原 悦子
問合せ先責任者 （役職名）執行役員 グループ経営管理部長 （氏名）大竹 貴也 TEL 03-6894-3233
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績（2025年7月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年6月期第1四半期	5,433	47.6	616	241.7	621	221.2	479	273.6
2025年6月期第1四半期	3,679	13.4	180	△35.1	193	△32.6	128	32.4

（注）包括利益 2026年6月期第1四半期 516百万円（268.7％） 2025年6月期第1四半期 140百万円（343.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	32.30	—
2025年6月期第1四半期	8.60	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年6月期第1四半期	8,575	4,730	54.6
2025年6月期	10,409	4,701	43.7

（参考）自己資本 2026年6月期第1四半期 4,680百万円 2025年6月期 4,543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	7.00	—	15.00	22.00
2026年6月期	—				
2026年6月期（予想）		11.00	—	13.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	20,500	4.7	1,900	18.9	1,900	16.2	1,130	19.1	76.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年6月期1Q	15,197,600株	2025年6月期	15,197,600株
2026年6月期1Q	490,656株	2025年6月期	277,456株
2026年6月期1Q	14,851,265株	2025年6月期1Q	14,920,144株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 4 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は2025年11月13日 (木) に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2025年7月1日～2025年9月30日）における当社グループは、PR（パブリックリレーションズ）発想を軸に、コミュニケーション戦略の策定から施策立案・支援まで、幅広いサービスを提供してまいりました。

中長期的な企業価値向上を目指す当社グループは、中長期経営方針「成長に向けた戦略方針」の最終年度を迎え、事業ポートフォリオの中核と位置づけるブランドコミュニケーション事業を中心に、収益力の向上に資する取り組みを推進しました。クライアントの維持・開拓や多様かつ付加価値の高いサービスの提供に注力するとともに、従来のPRからマーケティング戦略支援、コンサルティングへ領域を拡大した包括的なソリューションの受注獲得に向けて提案力を強化しました。

当社グループではまた、2024年6月期からの3か年を対象に、成長への戦略投資枠として総額15億円を設定するなか、事業成長を支える人財への投資を加速し、継続的な採用を進めました。課題とする生産性の向上を目的として、生成AIの活用や教育の拡充を進め、特にメディア担当から営業職へ移行する若手スタッフの育成においては、集合研修のみならず、企画提案に参画する機会を創出し、早期に能力が発揮できるよう、体制を整備しました。

売上高につきましては、前年同期に続いて増収を達成し、第1四半期連結累計期間として過去最高を更新しました。ブランドコミュニケーション事業では、IP（知的財産）コンテンツを活用した商品企画が大幅に伸長するとともに、販促施策において大型案件を受注しました。PRも伸長し、コスメ・ファッション、商業施設・ホテル、スポーツ、食品・飲料など、これまで実績を積み重ねてきた業種を中心に受注が拡大するとともに、世界的なイベント開催を好機として、大阪・関西万博に係るPRも寄与しました。

営業利益につきましては、増収効果により人件費や本社オフィスの賃借料等の固定費の増加を吸収し、さらにはブランドコミュニケーション事業で収益性の改善が進んだことから、第1四半期連結累計期間として過去最高を更新しました。営業利益以下の各段階においても増益を確保し、新株予約権戻入益1億14百万円を特別利益に計上した要因も加わり、親会社株主に帰属する四半期純利益は大幅に増加しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	54億33百万円（前年同期比 47.6%増）
営業利益	6億16百万円（前年同期比 241.7%増）
経常利益	6億21百万円（前年同期比 221.2%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	4億79百万円（前年同期比 273.6%増）

また、次期成長戦略の策定準備を進めるなか、ブランドコミュニケーション事業におけるIPコンテンツを活用した商品企画の成長、フードブランディング事業におけるブランディング及びライセンスとしての実績等を踏まえて、将来的な事業機会を検討し、フランスでミシュラン三つ星を獲得したレストランのオーナーシェフ小林圭氏のブランドをライセンス管理する合弁会社「株式会社KEI CONCEPT Japan」を2025年10月1日付で設立し、持分法適用関連会社としました。

当社グループの報告セグメントの構成及び業績は次のとおりです。

報告セグメントの構成

報告セグメント	構成子会社
① ブランドコミュニケーション事業	株式会社サニーサイドアップ
	株式会社クムナムエンターテインメント
	株式会社エアサイド
	株式会社ステディスタディ
② フードブランディング事業	株式会社フライパン
	SUNNY SIDE UP KOREA, INC
③ ビジネスディベロップメント事業	株式会社グッドアンドカンパニー
	株式会社TKG Consulting

報告セグメントごとの売上高及び利益

		2025年6月期 第1四半期 連結累計期間	2026年6月期 第1四半期 連結累計期間	前年同期比
① ブランドコミュニケーション事業	売上高	28億35百万円	45億17百万円	59.3%増
	利益	4億16百万円	8億74百万円	110.0%増
② フードブランディング事業	売上高	8億25百万円	8億90百万円	7.8%増
	利益	38百万円	45百万円	20.0%増
③ ビジネスディベロップメント事業	売上高	19百万円	26百万円	36.3%増
	利益	4百万円	5百万円	14.2%増

① ブランドコミュニケーション事業

当事業では、クライアントである企業・団体等の活動や商品・サービスの価値を広く伝え、様々なステークホルダーと良好な関係性を構築するための戦略策定、施策立案・支援を担っております。具体的な施策は、プレスリリースの作成・配信、記者発表会、メディアリレーション、PRイベント、SNS戦略立案など、多岐に渡っております。また、商品企画・販促施策の立案・支援を手掛け、店頭等の消費者とのコンタクトポイントで購買・成約の意思決定を促すためのノウハウ・ソリューションを提供しております。

株式会社サニーサイドアップでは、クライアントニーズにきめ細かく対応した企画力とメディアリレーションを強みとし、特定の業種に限定することなく、国内外のクライアントの商品・サービス、施設等のPRに加えて、インフルエンサーとSNSを組み合わせたマーケティングサービスを提供しております。PRと並ぶ主力サービスに成長した商品企画「Happyくじ」は、キャラクター等のIPコンテンツを活用し、大手コンビニエンスストア等の販売先へ企画提案し、グッズ制作を行っております。また、その他の商品企画としてOEMの機能・ノウハウを有するほか、商品キャンペーンの企画等の販促施策を手掛けております。株式会社クムナムエンターテインメントでは、強力なキャスティングネットワークと企画力を強みとし、日本及び韓国の人気アーティストや有名プロスポーツ選手等を起用したブランディング、コンテンツ開発を手掛けております。株式会社エアサイドでは、高いクリエイティブ力とエンターテインメント業界とのリレーションを武器に、人気アーティストを起用したCMをメディアに紹介するPR等を手掛けております。株式会社ステディスタディでは、ファッションやライフスタイルブランドに関する専門的な知見やキャスティング力を活かし、PRやコンサルティングを提供しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、商品企画・販促施策で大型案件を受注したことに加え、PRで複数施策の組み合わせや包括的なマーケティング戦略など、アップセルに繋がる提案が徐々に結実したことから、収益性が改善し、事業全体で増収増益を達成しました。

これらの結果、当事業の当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高 45億17百万円（前年同期比 59.3%増）
セグメント利益 8億74百万円（前年同期比 110.0%増）

② フードブランディング事業

当事業では、オーストラリア・シドニー発のオールデイダイニング「bills」の日本・韓国におけるブランディング及びライセンス管理を行っております。店舗につきましては、日本で直営7店舗、韓国で直営2店舗を展開し、日本では運営を事業パートナーに委託し、韓国では自社で行っております。

当事業ではまた、食のブランディングに関する知見・実績を活かし、日本食（味噌煮込みうどん）の韓国におけるフランチャイズ展開として、2025年9月に「山本屋 ソウルパンギョ店」を出店しました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、「bills」で客単価が高水準で推移するとともに、好調なインバウンド需要に支えられた大阪店（大阪府大阪市北区）、銀座店（東京都港区）及び表参道店（東京都渋谷区）で客数が大きく伸び、事業全体で増収増益を達成しました。

これらの結果、当事業の当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高 8億90百万円（前年同期比 7.8%増）
セグメント利益 45百万円（前年同期比 20.0%増）

③ ビジネスディベロップメント事業

当事業は、新規事業の開発・創出を通じてグループの事業領域を拡充する位置づけにあり、セグメントの特性上、費用が先行する傾向にあります。

株式会社グッドアンドカンパニーでは主に、ウェルビーイングや女性活躍推進等、社会課題の解決に資するコミュニケーションサービスを提供しております。株式会社TKG Consultingでは、マーケティング戦略支援やコンサルティングを手掛け、ブランドコミュニケーション事業と連携して事業を展開しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、女性活躍推進や環境関連のコンサルティング受注が寄与し、事業全体で増収増益を達成しました。

これらの結果、当事業の当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	26百万円（前年同期比 36.3%増）
セグメント利益	5百万円（前年同期比 14.2%増）

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べて18億34百万円減少し、85億75百万円となりました。資産の内訳につきましては、流動資産が18億61百万円の減少により67億64百万円に、固定資産が27百万円の増加により18億10百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、未成業務支出金が2億1百万円増加したものの、現金及び預金が23億36百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べて18億63百万円減少し、38億45百万円となりました。負債の内訳につきましては、流動負債が18億29百万円の減少により30億36百万円に、固定負債が34百万円の減少により8億8百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、買掛金が14億59百万円、短期借入金が80百万円それぞれ減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べて29百万円増加し、47億30百万円となりました。これは主に、自己株式の取得が1億49百万円、新株予約権の取崩しが1億14百万円あったものの、利益剰余金が2億55百万円増加したことによるものです。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の43.7%より上昇し、54.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の連結業績予想につきましては、2025年8月13日に公表しました予想値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,655,526	2,319,462
受取手形	85,685	92,425
売掛金	2,979,237	2,908,879
商品及び製品	32,166	32,327
未成業務支出金	486,791	688,742
原材料及び貯蔵品	27,898	23,827
その他	375,978	710,166
貸倒引当金	△16,978	△11,465
流動資産合計	8,626,305	6,764,366
固定資産		
有形固定資産		
その他（純額）	526,533	549,777
有形固定資産合計	526,533	549,777
無形固定資産		
のれん	193,284	182,930
その他	10,641	6,855
無形固定資産合計	203,926	189,785
投資その他の資産		
その他	1,111,553	1,128,858
貸倒引当金	△58,540	△57,595
投資その他の資産合計	1,053,012	1,071,263
固定資産合計	1,783,472	1,810,826
資産合計	10,409,778	8,575,192
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,883,799	1,424,451
短期借入金	180,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	133,881	133,647
未払法人税等	359,946	256,598
賞与引当金	299,853	83,436
役員賞与引当金	190,356	-
契約負債	327,545	471,414
その他	490,314	566,971
流動負債合計	4,865,697	3,036,520
固定負債		
長期借入金	429,535	396,298
資産除去債務	161,270	161,945
その他	252,213	250,267
固定負債合計	843,019	808,510
負債合計	5,708,717	3,845,031

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,551	550,551
資本剰余金	698,914	698,914
利益剰余金	3,365,039	3,620,905
自己株式	△130,456	△279,837
株主資本合計	4,484,049	4,590,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80,379	101,009
繰延ヘッジ損益	△1,639	7,189
為替換算調整勘定	△18,856	△18,307
その他の包括利益累計額合計	59,883	89,892
新株予約権	114,469	277
非支配株主持分	42,658	49,456
純資産合計	4,701,060	4,730,161
負債純資産合計	10,409,778	8,575,192

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	3,679,929	5,433,274
売上原価	2,835,749	4,080,925
売上総利益	844,180	1,352,349
販売費及び一般管理費	663,782	735,978
営業利益	180,397	616,370
営業外収益		
受取利息	245	3,089
持分法による投資利益	-	241
為替差益	13,198	2,043
業務受託手数料	6,000	1,813
その他	2,142	1,821
営業外収益合計	21,585	9,008
営業外費用		
支払利息	1,676	2,375
持分法による投資損失	3,823	-
匿名組合損益分配額	2,287	985
その他	842	975
営業外費用合計	8,629	4,337
経常利益	193,354	621,041
特別利益		
投資有価証券売却益	1,640	-
新株予約権戻入益	5,376	114,192
特別利益合計	7,016	114,192
特別損失		
出資金評価損	5,019	-
固定資産除却損	1	3,059
特別損失合計	5,020	3,059
税金等調整前四半期純利益	195,349	732,174
法人税等	65,951	245,707
四半期純利益	129,397	486,466
非支配株主に帰属する四半期純利益	999	6,798
親会社株主に帰属する四半期純利益	128,397	479,668

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	129,397	486,466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,340	20,630
繰延ヘッジ損益	△10,983	8,829
為替換算調整勘定	9,324	548
その他の包括利益合計	10,682	30,008
四半期包括利益	140,080	516,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	139,080	509,676
非支配株主に係る四半期包括利益	999	6,798

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランドコ ミュニケー ション事業	フードブラ ンディング 事業	ビジネスデ イベロップ メント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,835,385	825,444	19,099	3,679,929	—	3,679,929
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,858	729	2,380	7,967	△7,967	—
計	2,840,243	826,173	21,479	3,687,897	△7,967	3,679,929
セグメント利益	416,543	38,143	4,442	459,130	△278,732	180,397

(注) 1. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位: 千円)

	前第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	△11,382
全社費用(注)	△267,350
合計	△278,732

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランドコ ミュニケー ション事業	フードブラ ンディング 事業	ビジネスデ イベロップ メント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,517,091	890,142	26,040	5,433,274	—	5,433,274
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,070	867	1,000	11,938	△11,938	—
計	4,527,162	891,010	27,040	5,445,212	△11,938	5,433,274
セグメント利益	874,862	45,788	5,073	925,724	△309,354	616,370

(注) 1. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	442
全社費用(注)	△309,796
合計	△309,354

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年8月13日開催の取締役会において、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。当該取得状況は次のとおりであります。

自己株式の取得状況（2025年9月30日現在）

取得した株式の総数 : 213,200株

取得価額の総額 : 149,380千円

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	27,678千円	23,189千円
のれんの償却額	10,354	10,354

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間（自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	ブランドコミュニケーション事業	フードブランディング事業	ビジネスディベロップメント事業	
日本	2,711,441	682,467	19,099	3,413,008
アジア	11,925	142,976	—	154,901
米国	61,712	—	—	61,712
欧州	50,306	—	—	50,306
顧客との契約から生じる収益	2,835,385	825,444	19,099	3,679,929
外部顧客への売上高	2,835,385	825,444	19,099	3,679,929

当第1四半期連結累計期間（自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	ブランドコミュニケーション事業	フードブランディング事業	ビジネスディベロップメント事業	
日本	4,375,110	749,401	26,040	5,150,552
アジア	74,424	140,741	—	215,165
米国	32,742	—	—	32,742
欧州	34,813	—	—	34,813
顧客との契約から生じる収益	4,517,091	890,142	26,040	5,433,274
外部顧客への売上高	4,517,091	890,142	26,040	5,433,274